

鹿児島水産高等学校 「音楽Ⅰ」

| | | | | |
|-------------|-------------------|-------|---|---------|
| 教科名 | 芸術(音楽Ⅰ) | 単位数 | 2 | 対象生徒:1年 |
| 教科書 副教材社 | MOUSA1 (教育芸術社) | 授業担当者 | | 白澤玲子 |

学習到達目標

- 1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 2 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- 3 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態を養う。

1 学習の内容・ねらい

| 学期 | 学習内容 | 学習のねらい |
|---------|--|--|
| 1 学期 | <p>I 歌唱① 「校歌の練習」</p> <p>II 歌唱② 「Ave Maria」「ふるさと」 「ヒマワリの約束」 「翼をください」「少年時代」</p> <p>III 器楽【ギター奏法①】 「きらきら星」「メリーさんの羊」「河は呼んでいる」</p> <p>IV 鑑賞【西洋音楽史①】 『中世～バロック』 「グレゴリア聖歌」 「管弦楽組曲」</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・校歌の歌唱練習指導を通して、学校への所属感を高めるとともに、主体的な表現活動への感心もち、授業を受ける上での基本的な学習態度を身につける。 ・楽譜と正しい読み方や書き方を身につけ、表現に生かすようにする。 ・発声などの基本的な技能を身につける。 ・姿勢や腹式呼吸等について意識しながら歌う。 ・曲想に応じた発声の方法について学び表現を工夫する。 ・ギターの構造と発音原理について理解する。 ・チューニングや姿勢、奏法等を身につける。 ・作品を鑑賞したり、作曲者について調べたり、曲想の表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解する。 ・鑑賞作品について、根拠をもって批評する。 |
| 2 学期 | <p>V 歌唱③ 「Santa Lucia」「Caro mio ben」「夏の思い出」「むこうむこう」</p> <p>VI 器楽【ギター奏法②】 「なごり雪」「第三の男のテーマ」</p> <p>VII 鑑賞【西洋音楽史③】 『古典派～ロマン派』 「モーツァルト/交響曲 25番」「シューベルト/交響曲第7番」 等</p> <p>VIII 創作 「簡単な旋律を作ってみよう」</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な曲想に応じて、表現のしかたを工夫する。 ・イタリア語の発音の特徴をとらえて歌う。 ・日本語の美しい語感を生かして表現する。 ・ギターの正しい奏法を身につけ、TAB譜やコードを身ながらメロディーまたは伴奏パートを演奏したり弾き歌いしたりする。 ・表現形態や、演奏者により表現の特徴を理解し、幅広いジャンルの音楽に対して見識を広げる。 ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解する。 ・提示された旋律に音を加えたり、リズムや抑揚について考え旋律の雰囲気をもとに変化させるかイメージする。 |

| | | |
|-------------|-----------------------|--|
| 3 学 期 | IX 器楽【三線】 「大きな古時計」 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の歴史、成り立ちの背景について理解する。 ・三線の基本的な奏法に「について学習し、その音色を味わいながら簡単な曲を演奏する。 |
| | X 鑑賞【西洋音楽史③】 | <ul style="list-style-type: none"> ・表現形態や、演奏者による表現の特徴を理解し、幅広いジャンルの音楽に対しての見識を広げる。 ・音楽を形づくっている要素を理解し、その効果を感じる。 ・鑑賞作品について、根拠を批評する。 |

2 評価の観点、内容および評価方法

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に 取り組む度 | 評価方法 |
|--------------------------|--|--|---|---|
| A 表現 (1) 歌唱 (2) 器楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声(楽器の音色や奏法)との関わり様々な表現形態による歌唱(器楽)表現の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱(器楽)表現をするために必要な曲にふさわしい発声(奏法)、言葉の発音、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して歌う。演奏する技能、表現形態の特徴を生かして歌う(演奏する)技能を身につけ、歌唱(器楽)で表している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことを感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現系をもっている。 | <p>その題材で扱う楽曲や曲種等の特徴、学習内容などに曲想と音楽の構造に感心をもち、主体的・協働的に歌唱(器楽)の学習活動に取り組もうとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・実技ノート ・ワークシート(自己評価含) |
| A 表現 (3) 創作 | <ul style="list-style-type: none"> ・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴などについて、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な反復、変化、対照などの手法を活用して音楽を作る技法、旋律を「作ったり、作った旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽を作ったりする技能、音楽を形作っている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身につけ、創作で表している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽を作るかについて表現意図をもっている。 | <p>・その題材で扱う教材曲や曲種等の特徴、学習内容などに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・創作作品 ・ワークシート(自己評価含) |
| B 鑑賞 (1) 鑑賞 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲の演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にととの音楽の意味や評価、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 | <p>・7その題材で扱う教材曲や曲種等の特徴、学習内容などに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・レポート ・ワークシート(自己評価含) |

鹿児島水産高等学校 芸術家音楽 I 題材ごとの目標・評価基準

| 内容の まとめ り | 題材名 | 目標 | 教材 | 時 数 | 評価基準 | | |
|-----------------|--------------------------------|---|--|--------|--|---|--|
| | | | | | 知識・技能 | 思考・判断・ | 働きを主体的に学習に取り組む態度 |
| 歌唱 | 曲想と歌詞との関りを理解して歌おう (4月～5月) | 曲想と音楽の背景、曲(歌詞)に込められた思いとの関りについて理解し、創意工夫を生かした歌唱表現で曲にふさわしい発声で歌唱する技能を身につける。 | 「校歌」 「Ave Maria」 「ふるさと」 「ひまわりの約束」 「翼をください」 「少年時代」 | 6 | ・曲想と歌詞や作られた背景との関りについて理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方や他者との調和を意識して歌う技能を身につけ、歌唱で表している。 | リズム、旋律、を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚した事と感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 | 鹿児島水産高校で歌い継がれる曲の曲想と歌詞や音楽の背景などの関りに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 |
| 器楽 | ギター奏法① (6月～7月) | ギターの奏法と音色との関りに関心をもち、創意工夫をいかした器楽表現でギターを演奏する技能を身につける。 | 「きらきら星」 「メリーさんの羊」 「河は呼んでいる」 | 8 | ・楽曲の音色と奏法との関りについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法や身体の使い方の技能を身につけ、器楽で表している。 | 音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 | 楽器の音色と奏法との関りに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 |
| 鑑賞 | 西洋音楽史① 《中世～バロック》 (5月～7月) | 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りや音楽の特徴と文化的・歴史的背景に関心をもち、その時代の音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 | 「グレゴリア聖歌」 「管弦楽組曲」 「四季」より春 | 6 | 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りや、音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。 | リズム、旋律、テクスチャ、を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したこととの関りについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 | 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りや、音楽の特徴と文化的・歴史的背景に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。 |
| 歌唱 | 曲にふさわしい発声や発音で歌おう (9月～10月) | 言葉の特性(カツォーネ、イタリア歌曲、ドイツ歌曲等)と曲種に応じた発声との関りに関心をもち、創意工夫を生かした歌唱表現で歌唱する技能を身につける。 | 「Santa Lucia」 「Caro mio ben」 「夏の思い出」 「むこうむこう」 | 6 | ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関りについて理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技法や表現慶太の特徴を生かして歌う技能を身につけ、歌唱で表している。 | ・リズム、旋律、強弱、速度、構成を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 | ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関りに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 |

鹿児島水産高等学校 芸術科音楽 I 題材ごとの目標・評価基準

| 内容の まとめ | 題材名 | 目標 | 教材 | 時 数 | 評価基準 | | |
|------------|----------------------------------|---|---|--------|--|---|--|
| | | | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 器楽 | ギター奏法② (10月~11月) | ギターの奏法と音色との 関わりに関心を持ち、創意 工夫を生かした器楽表現 でギターを演奏する技能 を身につける。 | 「なごり雪」 「第三の男のテーマ」 | 1 0 | 楽器の音色と奏法との関わりについて理 解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするた めに必要な曲にふさわしい奏法や身体 の使い方などの技能を身につけ器楽で 表している。 | 音色、リズム、テクスチャを知覚 し、それらの働きを感じながら知 覚したことと感受したこととの関わり について考え、どのように演奏する かについて表現意図をもっている。 | 楽器の音色と奏法との関わり に関心を持ち、主体的・協 働的に器楽の学習活動に取り 組もうとしている。 |
| 創作 | 作曲に挑戦 (12月) | 歌詞の内容や言葉の印 象から膨らませたイメージ と、音素材、音を連ねたり 重ねたりしたときの響き、 音階や音型などの特徴及 び構成上の特徴との関わり に関心を持ち、創意工夫 を生かした創作表現で音 楽をつくる技能を身につ ける。 | 「むこうむこう」 「この道」 | 4 | 歌詞の内容や言葉の印象、音素材、音 を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階 や音型などの特徴及び構成上の特徴と の関わりについて表したいイメージと関 わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするた めに必要な反復、変化、対照などの手 法を活用して音楽を作る技能や旋律や 和音などをつけた音楽を作ったりする技 能を身につけ、創作で表している。 | リズム旋律、テクスチャ、構成を 知覚し、それらの働きを感じなが ら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように音 楽をつくるかについて表現意図を もっている。 | ・歌詞の内容や言葉の印象 から膨らませたイメージと音 素材、音を連ねたり重ねたり した時の響き、音階や音型 などの特徴及び構成上の特 徴との関わりに関心を持ち、 主体的・協働的に創作の 学習活動に取り組もうとし ている。 |
| 鑑賞 | 西洋音楽史① 《古典派~ロマン派》 (9月~11月) | 曲想や表現上の効果と音 楽の構造との関わりや、 音楽の特徴と文化的・歴 史的背景に関心を持ち、 その時代の音楽のよさや 美しさを自ら味わって聴く ことができる。 | 「交響曲第40番K. 550」 「交響曲第7番」 「ラ・カンパネラ」 | 6 | 曲想や表現上の効果と音楽の構造との 関わりや、音楽の特徴と文化的・歴史的 背景について理解している。 | 旋律、リズム、テクスチャ、形式、 構成を知覚し、それらの働きを感 受しながら、知覚したことと感受した こととの関わりについて考えると ともに、曲や演奏に対する評価と その根拠音楽表現の共通性や固 有性について考え、音楽のよさや 味わって美しさを自ら聴いている。 | 曲想や表現上の効果と音楽 の構造との関わりや、音楽の 特徴と文化的・歴史的背景 に関心を持ち、主体的・協働 的に鑑賞の学習に取り組 |
| 鑑賞 | ミュージカルの魅力 を探ろう (12月) | 総合芸術としてのミュージ カルの音楽的特徴と他の 芸術分野(文学、 演劇、舞踊、舞台美術、 照明等)との関わりに関心 を持ち、音楽のよさや美し さを自ら味わって聴くこ とができる。 | 「サウンド・オブ・ミュー ジック」 「ウエストサイド・ストー リー」 | 8 | 曲想や表現上の効果と音楽の構造との 関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背 景、他の芸術との関わりについて理解し ている。 【知識】鑑賞イ(ア)(イ)、共通事項イ | 旋律、リズム、テクスチャ、形式、 構成を知覚し、それらの働きを感 受したこととの関わりについて考え るとともに、曲や演奏に対する評価 とその根拠、自分や社会にとつ ての音楽の意味や価値について考 え、音楽のよさや美しさを自ら味 わって聴いている。 | 総合芸術としてのミュージカ ルの音楽的特徴と他の芸術 分野との関わりに関心を持ち、 主体的・協働的に鑑賞の学 習活動に取り組もうとしてい る |

鹿児島工業高等 芸術家音楽1 題材ごとの目標・評価基準

| 内容の まとめ | 題材名 | 目標 | 教材 | 時 数 | 評価基準 | | |
|------------|------------------------------|---|---|--------|---|--|--|
| | | | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 器楽 鑑賞 | 三線に挑戦! (1月) | 琉球(沖縄)の伝統楽器の一つである三線の音色や奏法と曲想との関わりに関心をもち、創意工夫を生かした器楽表現で三線を演奏する技能を身に付ける。 | 「大きな古時計」 「海の声」 「安波節」 「ていんさぐぬ花」 | 8 | <p>・様々な表現形態による器楽表現の特徴、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、我が国の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> | 音色、リズム、旋律、速度、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことのかかわりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 | 様々な表現形態による器楽表現の特徴に関心をもち、主体的、協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |
| 鑑賞 | 西洋音楽史② 《近・現代音楽》 (2～3月) | 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りや、音楽の特徴と文化的・歴史的背景に関心をもち、その時代の音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 | 「浄められた夜」 「プリベアドピアノのためのソナタとインターリュード」 | 8 | 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりをや、音楽の特徴と文化的・れきしてき拝見について理解している。 | 旋律、リズム、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価をその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 | 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りや、音楽の特徴と文化的・歴史的背景に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |